

2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年8月14日

上場会社名 技研ホールディングス株式会社
コード番号 1443 URL <http://www.giken-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 ペジ
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 佐々木 ペジ
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6635-1839

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,164	14.3	201	28.9	347	24.6	237	13.3
2026年3月期第1四半期	1,018	6.3	156	41.3	279	26.3	209	29.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 120百万円 (60.3%) 2026年3月期第1四半期 305百万円 (2.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	14.60	—
2026年3月期第1四半期	12.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	18,144	13,025	71.8
2026年3月期	18,276	12,922	70.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 13,025百万円 2026年3月期 12,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	1.10	1.10
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		—	—	1.10	1.10

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	4.8	750	6.9	940	5.3	640	4.3	39.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	16,237,977 株	2026年3月期	16,237,977 株
2027年3月期1Q	4,040 株	2026年3月期	3,879 株
2027年3月期1Q	16,233,997 株	2026年3月期1Q	16,234,478 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇や為替相場の変動などにより、先行き不透明な状況が続きました。

建設業界におきましては、民間建設投資は底堅く推移した一方で、建設資材価格や労務費の高止まり、技能労働者不足などにより、依然として厳しい事業環境で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは建築工事を中心に受注の確保に努めるとともに、安全・品質の確保、施工管理体制の強化および原価管理の徹底に取り組んでまいりました。

この結果、受注高につきましては、前年同四半期比44.9%減の1,184百万円、売上高につきましては、前年同四半期比14.3%増の1,164百万円となりましたが、固定費用の削減等により、営業利益につきましては、前年同四半期比28.9%増の201百万円、経常利益につきましては前年同四半期比24.6%増の347百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同四半期比13.3%増の237百万円となりました。

当社グループの前期繰越受注高、受注高、売上高、次期繰越高は次のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第1四半期連結累計期間	2,385,002	2,148,974	1,018,990	3,514,986
当第1四半期連結累計期間	2,996,744	1,184,730	1,164,597	3,016,876

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(土木関連事業)

法面保護工事が主体の当事業は、受注高につきましては昨年よりも受注高が大幅な減少となり、前年同期比90.0%減の31百万円、売上高につきましては前期繰越工事及び当期受注工事の進捗が進み、前年同期比7.1%増の201百万円、営業利益につきましては、前年同期比29.5%増の41百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第1四半期連結累計期間	434,364	309,272	188,273	555,363
当第1四半期連結累計期間	1,056,169	31,039	201,617	885,591

(建築関連事業)

医療施設向けの放射線防護・電磁波シールド工事等が主体の当事業は、新築物件・改修工事等の物件数が減少しており、受注高につきましては前年同期比51.2%減の707百万円、売上高につきましては進捗が進み、前年同期比25.6%増の632百万円、営業利益につきましては、前年同期比60.1%増の158百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第1四半期連結累計期間	1,851,979	1,447,671	503,209	2,796,442
当第1四半期連結累計期間	1,892,190	707,171	632,061	1,967,300

(型枠貸与関連事業)

消波根固ブロック製造用型枠の賃貸及びコンクリート二次製品の販売が主体の当事業は、受注高につきましては前年同期比14.7%増の426百万円、売上高につきましては前年同期比1.5%増の312百万円となり、営業利益につきましては、前年同期比1.7%減の86百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第1四半期連結累計期間	91,796	372,187	307,759	156,224
当第1四半期連結累計期間	37,596	426,752	312,442	151,906

(その他)

その他の分野には、不動産賃貸事業、海外での事業等をまとめてその他としております。受注高につきましては前年同期比0.4%減の19百万円、売上高につきましては前年同期比6.4%減の18百万円、営業利益につきましては△3百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第1四半期連結累計期間	6,861	19,843	19,747	6,957
当第1四半期連結累計期間	10,788	19,767	18,477	12,078

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、131百万円減少し18,144百万円となりました。減少した主な要因は、投資有価証券の時価評価額の減少等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ、234百万円減少し5,119百万円となりました。減少した主な要因は、支払手形・工事未払金等及び借入金の減少であります。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少が115百万円、配当による剰余金の減少が17百万円、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が237百万円であったこと等から、前連結会計年度末に比べ、103百万円増加し13,025百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加し71.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、業績が概ね予想通りに推移しているため、現時点では2026年5月20日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想の動向につきましては、引き続き精査を進めてまいります。受注動向、事業環境、繰延税金資産の回収可能性等を慎重に見極めつつ業績予想に修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。これらの業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断するデータに基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,482,660	1,663,991
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	1,339,954	1,195,355
有価証券	211,570	208,274
棚卸資産	515,354	531,188
その他	29,053	23,344
貸倒引当金	△5,380	△5,310
流動資産合計	3,573,213	3,616,843
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,916,538	4,916,538
その他（純額）	1,274,600	1,263,727
有形固定資産合計	6,191,138	6,180,265
無形固定資産		
その他	739	624
無形固定資産合計	739	624
投資その他の資産		
投資有価証券	8,473,102	8,306,159
その他	99,288	102,421
貸倒引当金	△61,342	△61,342
投資その他の資産合計	8,511,048	8,347,238
固定資産合計	14,702,926	14,528,128
資産合計	18,276,139	18,144,971
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	968,219	798,894
1年内返済予定の長期借入金	820,511	517,978
未払法人税等	217,684	212,408
契約負債	253,829	313,711
引当金	31,648	46,860
その他	184,637	199,828
流動負債合計	2,476,530	2,089,681
固定負債		
長期借入金	2,037,030	2,245,142
退職給付に係る負債	70,485	69,808
繰延税金負債	735,247	679,417
その他	34,282	35,296
固定負債合計	2,877,046	3,029,665
負債合計	5,353,576	5,119,346

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,000	1,120,000
資本剰余金	1,473,840	1,473,840
利益剰余金	8,587,159	8,806,336
自己株式	△965	△1,013
株主資本合計	11,180,034	11,399,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,740,458	1,624,760
退職給付に係る調整累計額	2,071	1,700
その他の包括利益累計額合計	1,742,529	1,626,461
純資産合計	12,922,563	13,025,624
負債純資産合計	18,276,139	18,144,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,018,990	1,164,597
売上原価	712,263	804,982
売上総利益	306,726	359,614
販売費及び一般管理費	150,688	158,525
営業利益	156,038	201,088
営業外収益		
受取利息	69	245
受取配当金	134,266	156,618
その他	2,218	4,723
営業外収益合計	136,555	161,588
営業外費用		
支払利息	12,347	11,332
持分法による投資損失	494	164
その他	631	3,350
営業外費用合計	13,473	14,847
経常利益	279,119	347,830
特別利益		
投資有価証券売却益	14,113	-
固定資産売却益	14	-
特別利益合計	14,128	-
税金等調整前四半期純利益	293,248	347,830
法人税、住民税及び事業税	100,720	115,168
法人税等調整額	△16,654	△4,371
法人税等合計	84,066	110,796
四半期純利益	209,181	237,033
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,181	237,033

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	209,181	237,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95,474	△115,697
退職給付に係る調整額	414	△370
その他の包括利益合計	95,889	△116,068
四半期包括利益	305,071	120,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305,071	120,965
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	計			
売上高							
一定期間にわたり 認識する収益	188,273	444,207	-	632,480	-	-	632,480
一定時点で認識す る収益	-	59,002	21,888	80,890	2,827	-	83,718
顧客との契約から 生じる収益	188,273	503,209	21,888	713,371	2,827	-	716,199
その他収益	-	-	285,870	285,870	16,919	-	302,790
外部顧客への 売上高	188,273	503,209	307,759	999,242	19,747	-	1,018,990
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	188,273	503,209	307,759	999,242	19,747	-	1,018,990
セグメント利益	32,410	98,717	87,594	218,722	3,114	△65,798	156,038

(注) 1. その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△65,798千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	計			
売上高							
一定期間にわたり 認識する収益	201,617	578,990	-	780,607	-	-	780,607
一定時点で認識す る収益	-	53,071	37,734	90,805	2,512	-	93,317
顧客との契約から 生じる収益	201,617	632,061	37,734	871,413	2,512	-	873,925
その他収益	-	-	274,707	274,707	15,965	-	290,672
外部顧客への 売上高	201,617	632,061	312,442	1,146,120	18,477	-	1,164,597
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	201,617	632,061	312,442	1,146,120	18,477	-	1,164,597
セグメント利益	41,966	158,047	86,068	286,081	△3,093	△81,898	201,088

(注) 1. その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△81,898千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	27,006千円	23,888千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。